

年度末報告書（実行団体）

- 提出日：2023年 6月 16日
- 事業名：住民の孤立・生活困窮防止のための支援実務連携強化
- 資金分配団体：一般社団法人ふくしま百年基金
- 実行団体：特定非営利活動法人コースター

実績値

【資金支援】※事業計画変更後内容を反映

対象期間：2022年4月～2023年3月

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
復興公営住宅の被災者または自治会への課題・ニーズ調査	インタビュー先件数	郡山市広域圏内 4～5カ所へのインタビュー	2023年10月末	累計：49 月平均：4 最大値：9 最小値：1	2
被災した自治体および避難先自治体の行政関係者または社協へのニーズ調査	インタビュー先件数	4～5団体	2023年10月末	累計：43 月平均：4 最大値：11 最小値：1	2
復興公営住宅や被災者の支援を行う民間団体への課題・ニーズ調査	インタビュー先件数	2～3団体	2024年3月末	累計：33 月平均：3 最大値：6 最小値：1	2

民間支援団体と連携した被災者の直接支援またはマッチング	支援実施件数	年4~5回、どこかの復興公営またはその周辺地域で支援策が実施されている	2024年3月末	累計：42 月平均：4 最大値：8 最小値：1	2
-----------------------------	--------	-------------------------------------	----------	----------------------------------	---

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input type="checkbox"/> 変更なし <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input checked="" type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3.(任意) 活動に関する報告
<p>定期的に訪問する中で吸い上げられてくる課題がある。</p> <p>①団地住民と地域再建している住民との関わりにおいて、大変まばらであった。中には再建している住民から、団地住民の方だけのイベントではないという表記や声掛けがないと行きにくいという声もある。また、団地を出て再建した方にも声掛けして交流を続けている方々もいる。その垣根を越えて交流機会とする工夫を行い、夏祭りやボランティア活動を継続して行う中で、交流機会の回復が見えてきている。</p> <p>②団地住民の孤立・孤独防止の観点から、社協・民間支援団体と協働しながら見えてきたことの一つとして「交流機会の減少」があった。コロナ禍でもあり、地域で生活している団地住民からは地域との交流促進を願う声や、このことを実践し間口を開き務めている方もいるが、そもそもの視点がある。それは「団地住民間での交流機会の希薄さ」である。団地内集会所でサロンを行っても参加するメンバーは固定されている現状があった。加えて「活動機会が減少したことによる影響」もある。双葉郡の誇りでもある夜の森の桜オンライン中継鑑賞会を行い、好評と前向きな次年度へ向けた提案が住民からあった。また、別視点からは、団地の高齢者率は年々層化しており、高いところでは入居者の8割以上が高齢世帯および高齢独居世帯の所もあり、ヒアリング調査すると「学生などの若い人と関わることで元気なパワー</p>

をもらえる」といった声が多くあった。そこには震災後12年を経て、年々そのような機会が減少してきている現状がある。そこで、仮設住宅時代から学生ボランティア活動の一環として取り組んできた「協働活動ボランティア」を提案したところ多くの反響があった。具体例として、清掃と食事作りから会食までをすべてを住民とともに協働することを行っている。その他、団地住民のニーズをヒアリング調査した結果を反映して有益となるメニューを組む取組みを行う。特に、共用部分の清掃や草刈りなどは高齢率の高い団地では要望は大変多かった。これらの活動を定期的にかつこれから先も継続して開催することで、自身の交流や外出機会として参加し、関わる住民が増えていくよう、その機会を創出することを大切にしている。賑やかな笑顔や会話の時間を共有するだけではなく、意識改革およびやりがいや生きがいのパワーへと変換される様子が見えてきている。その先に、並行して地域住民との交流機会があると考えている。

③上記②に加え、個人の生きがいの実現化に向けた伴走型個別支援のニーズがあり、行っている。避難してきた仮設住宅時代から、もしくは避難前から取り組んできた作品作りの作品を通して「新たな挑戦をしていきたい」という思いが抱かれたことを大切にしている取組みである。笑顔とともに楽しみつつ、やりがい・いきがいを見出し、自身の中だけではなく他者との交流からの気づきや発見があり、そのなかで客観的視点からの新しい発見が育まれている。また、「動機・目的・価値」を明確にして具体的に必要なことを確認しながら進む中で、他との関わり方が積極的に変化するなどの良い変化が生まれている。

④被災者にとって、「日常」というものの捉え方は当然バリエーションがある。被災前の失われた日常は戻らない・取り戻すことはできないという現実感を抱いている方も多くいる。まちと関係人口として関われるきっかけづくりやそのきっかけをつくることのできる団体・コーディネーターを増やすこと、また「帰還する・しない」に関わらずまちとの関係づくりを通して、メンタルヘルスとしての裨と明るい未来づくりにつながると感じ、そのための仕組み作りに注力している。

- ・ 交流機会の創出により、見学者から参加者へ、参加者から企画者へと変化していくこと
- ・ 団地内の取組で学生などの他の属性との交流することで、団地外の人々の交流の障壁を減らすこと
- ・ 関係人口として生活している地域・避難元自治体と関わるきっかけ作りとして、地域の人との接点づくりをする場を設けること
- ・ 団地住民との共同企画の立案および団体と団地が共同企画をするサポートをすること

避難元・現在生活する地域と関係を構築し、他の支援団体が団地住民と積極的に交流することによって、被災者のケアをしていく仕組み作りを目指している。最終的には当団体が関わらなくても上記のことが成されていくことは、多様化および複雑化する住民のニーズ・課題の解決へとつながると考え活動している。

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
<input checked="" type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している <input checked="" type="checkbox"/> 広報制作物に表示している <input checked="" type="checkbox"/> 報告書に表示している <input checked="" type="checkbox"/> イベント実施時に表示している <input type="checkbox"/> その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等） ①内 容：広報告知及び取材 記事名：ふくしま ふたば合同夏祭り 日 付：2022年8月16日～17日(実行委員会の様子は8/10福島民報新聞で掲載、 ラジオ告知は8/2・5・8・10・12・15の16:12～16:18 ヴォイスオブ郡山でO.A) 媒 体：TV・コミュニティラジオココラジ・新聞・当団体HP及びFacebook・リンク先 福島民報新聞 実行委員会の様子： https://news.yahoo.co.jp/articles/faabf2580754fbf190e7f98973eb901a0faefb96 福島民報新聞： https://www.minpo.jp/news/moredetail/2022081799766 福島民友新聞： https://www.minyu-net.com/news/sinsai/shinsai12/news/FM20220817-723087.php FCT(福島中央テレビ)： https://www.fct.co.jp/news/news97sov5qr4600tx89lb FTV(福島テレビ)： https://www.fukushima-tv.co.jp/localnews/2022/08/2022081600000012.html FTV(福島テレビ youtube 版)： https://www.youtube.com/watch?v=fn5ldv_7XA4 KFB(福島放送)： https://www.kfb.co.jp/news/fukushima/index.php?id=202208164786 TUF(テレビユー福島)： https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/125889?display=1&mwplay=1 ②復興公営住宅ボランティア活動報告 媒 体：当団体HP(NPO 法人コースター (costar-npo.org))及びFacebook(Facebook) 2.広報制作物等 種 類：チラシ 制作時期：2022年6月23日～7月28日 発注時期：①2022年7月20日(配布チラシ)、②2022年7月28日(配布本チラシ) 部 数：①1000部、②1500部 制作データ PDF：①については【添付資料：1】を参照、②については【添付資料：2】を参照

3.報告書等

【添付資料：3】

提出先：実行委員、名義後援先(福島県社協・郡山市社協)、福島県(生活拠点課)、協働団体、行政(避難元・避難先社協)

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

- ・ 2022年8月16日(火) 郡山市西部体育館/郡山市青少年会館/共用駐車場
第一回 ふくしま ふたば合同夏祭り
参加団体数および来場者数などの詳細は【添付資料④】を参照
- ・ 2022年12月7日(水) ミューカルがくと館(中ホール)
復興公営住宅文化祭及び出店者交流会
参加者数：出展5団体(18名)、来場者数：20名程度
- ・ 2023年2月17日(金) 福島コトひらくにて(オンライン/アーカイブ対応)
<震災と復興の講話>東日本大震災から12年～復興公営住宅の現状と課題～
講師：特定非営利活動法人 みんぷく 郡山拠点長 白石さん
対象：大学生(インターン生含む)
当日参加者数：6名(オンライン)

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）

→参照：自団体HPやFacebookにて公開

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 → 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：